

オカモト株式会社
決算説明

2026年11月27日(金)

New Basic 身近な暮らしを科学する
オカモト株式会社

目　次

1:2027年3月期(中間)　決算概要
2:セグメント別概況
3:株主還元の推移
4:今後の見通し
5:質疑応答

1:2027年3月期(中間) 決算概要
2:セグメント別概況
3:株主還元の推移
4:今後の見通し
5:質疑応答

決算ハイライト(1)

・2027年3月期2Q　連結業績(累計)

売上高581億円(前年比9.7%)、営業利益43億円(前年比72.4%)、
経常利益53億円(前年比58.1%)、当期利益36億円(前年比83.5%)

・2027年3月期2Q　連結業績予想と実績値との差異(累計)

売上高 +0.5億円(+0.1%)、営業利益 +5.2億円(+13.6%)、
経常利益 +4.5億円(+9.2%)、当期利益 +5.7億円(+18.9%)

決算ハイライト(2)

◆ポジティブ要因

・ホルムズ海峡封鎖の影響等で供給不安が続く中、安定供給を最優先し需要を取込み

・原材料高に対応した適正価格化の実施

・為替の円安による押し上げ効果

・難燃剤(アンチモン)価格高騰の沈静化

◆ネガティブ要因

・国内インバウンド需要減少及び中国景気低迷によるコンドーム販売減

・原材料価格の上昇継続

決算ハイライト(3)

◆株主還元他について

・2026年8月7日　適時開示

【2027年3月期第2四半期(中間期)及び通期業績予想並びに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ】にて上方修正を発表

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	114,000	6,000	7,600	4,800	279.62
今回修正予想（B）	115,000	6,700	8,700	5,700	334.19
増減額（B－A）	1,000	700	1,100	900	
増減率（%）	0.9	11.7	14.5	18.8	

	年間配当金		
	第２四半期末	期末	合計
前回予想 （2026年５月14日発表）	60円00銭	60円00銭	120円00銭
今回修正予想	**65円00銭**	**65円00銭**	**130円00銭**

・自己株式取得

（終了）取得株数170,300株、取得金額10億円、発行済み株式総数の1.0%

（新規）上限株数160,000株、上限金額10億円、発行済み株式総数の0.9%

取得枠設定を2026年11月12日発表

・東証TOPIX見直し(第2段階)においてもTOPIX対象銘柄の地位を維持

業績の概要

単位:百万円	2026年3月期 中間	2027年3月期 中間	前年同期比	%	対中間期業績予想差異	%
売上高	52,899	58,050	5,151	9.7	+50	+0.1
売上原価	42,755	45,799	3,044	7.1	–	–
売上総利益	10,144	12,251	2,107	20.8	–	–
販売費及び一般管理費	7,640	7,936	295	3.9	–	–
営業利益	2,503	4,315	1,811	72.4	+515	+13.6
営業外損益	881	1,035	154	17.5	–	–
経常利益	3,384	5,349	1,965	58.1	+449	+9.2

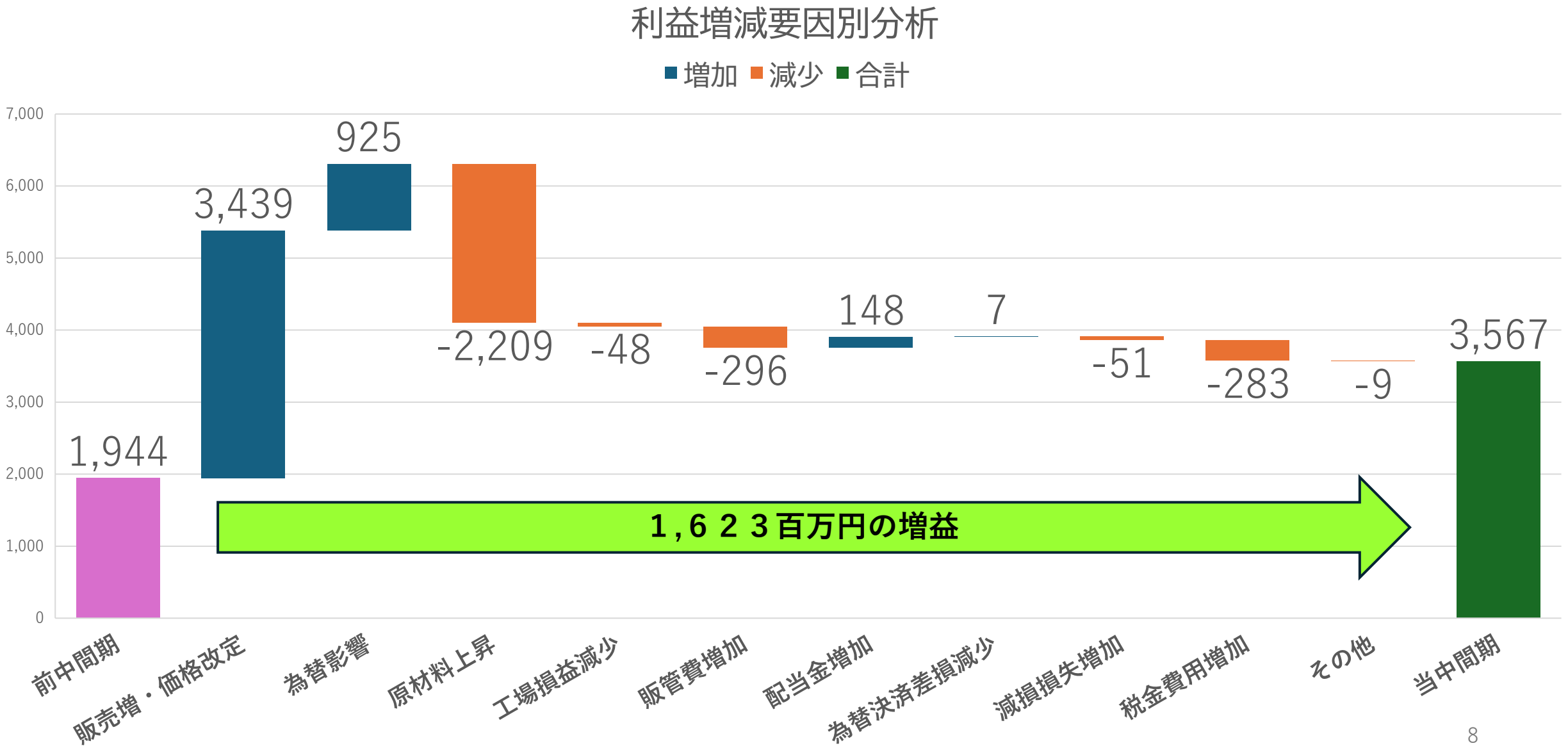
〇販売費及び一般管理費⇒主に「運賃及び荷造費」98百万円増加、「広告宣伝費」44百万円増加
〇営業外収益⇒「受取配当金」148百万円増加

業績の概要

単位:百万円	2026年3月期 中間	2027年3月期 中間	前年同期比	%	対中間期業績予想差異	%
特別損益	△445	△513	△68	15.4	–	–
税金等調整前当期利益	2,939	4,836	1,897	64.5	–	–
税金費用	981	1,265	283	28.9	–	–
親会社株主に帰属する中間純利益	1,943	3,567	1,623	83.5	+567	+18.9
平均為替レート(ドル)	146.09円	160.51円	14.42円	9.9	–	–

〇特別損失⇒「減損損失」51百万円増加

前年同中間期との比較


利益増減要因別分析
増加
減少
合計
7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
1,944
3,439
925
-2,209
-48
-296
148
7
-51
-283
-9
3,567
１，６２３百万円の増益
前中間期
販売増・価格改定
為替影響
原材料上昇
工場損益減少
販管費増加
配当金増加
為替決済差損減少
減損損失増加
税金費用増加
その他
当中間期

連結貸借対照表(概要)

単位:百万円	2026年3月31日	2026年9月30日	増減
＜資産の部＞			
流動資産合計	81,918	86,245	4,326
有形固定資産	25,048	25,653	605
無形固定資産	2,265	2,046	△218
投資その他の資産	54,935	55,650	714
固定資産合計	82,249	83,351	1,102
資産合計	164,167	169,597	5,429

〇流動資産⇒「現金及び預金」886百万円増加、「売掛金」1,022百万円増加、
「電子記録債権」1,682百万円増加、「たな卸資産」全体1,834百万円増加。
〇固定資産⇒「投資有価証券」678百万円増加。

連結貸借対照表(概要)

単位:百万円	2026年3月31日	2026年9月30日	増減
<負債の部>			
流動負債合計	33,672	36,501	2,828
固定負債合計	19,863	19,933	70
負債合計	53,536	56,435	2,899

〇流動負債⇒「支払手形及び買掛金」1,961百万円増加、「未払法人税」334百万円増加、
「その他」493百万円増加。
〇固定負債⇒「繰延税金負債」114百万円増加 。

連結貸借対照表(概要)

単位:百万円	2026年3月31日	2026年9月30日	増減
＜純資産の部＞			
株主資本合計	72,055	73,665	1,610
その他の包括利益累計額合計	38,458	39,366	907
非支配株主持分	117	129	12
純資産合計	110,631	113,161	2,530
負債純資産合計	164,167	169,597	5,429
自己資本比率	67.3%	66.6%	△0.7%

〇その他の包括利益累計額合計
⇒「その他有価証券評価差額金」464百万円増加、「為替換算調整勘定」558百万円増加。

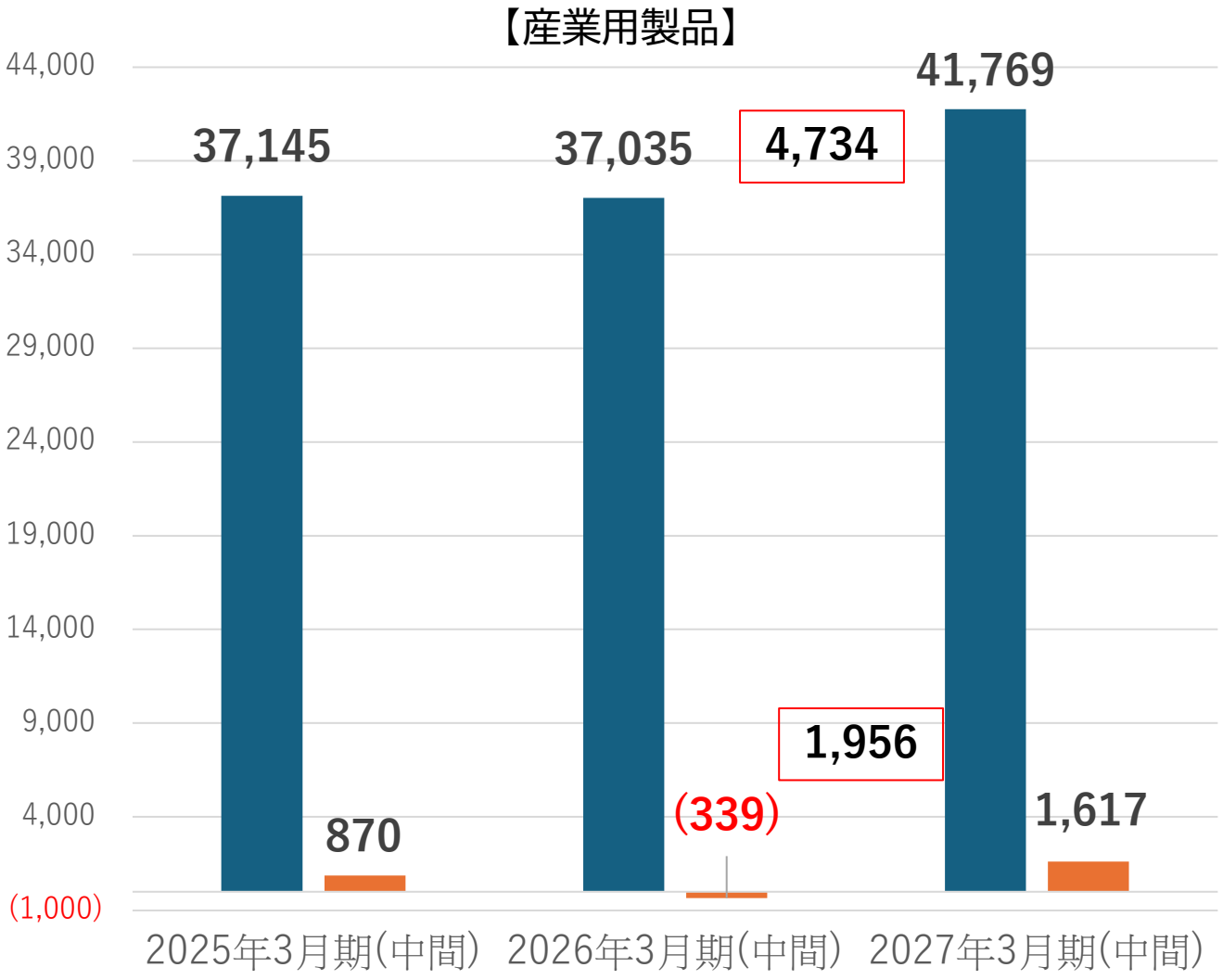
財務指標

	2026年3月期 通期	2027年3月期 中間
EPS（1株当たり純利益）	282.84円	209.67円
PBR（株価純資産倍率）	0.9倍	0.9倍
ROE（自己資本当期純利益率）	4.3%	※ 6.4%
ROA（総資産利益率）	5.5%	※ 4.2%
PER（株価収益率）	21.0倍	※ 14.7倍
（参考）		
オカモト株価期末終値	5,930円	6,170円
日経平均株価期末終値	51,064円	66,754円

※は年率に単純換算

1:2027年3月期(中間) 決算概要
2:セグメント別概況
3:株主還元の推移
4:今後の見通し
5:質疑応答

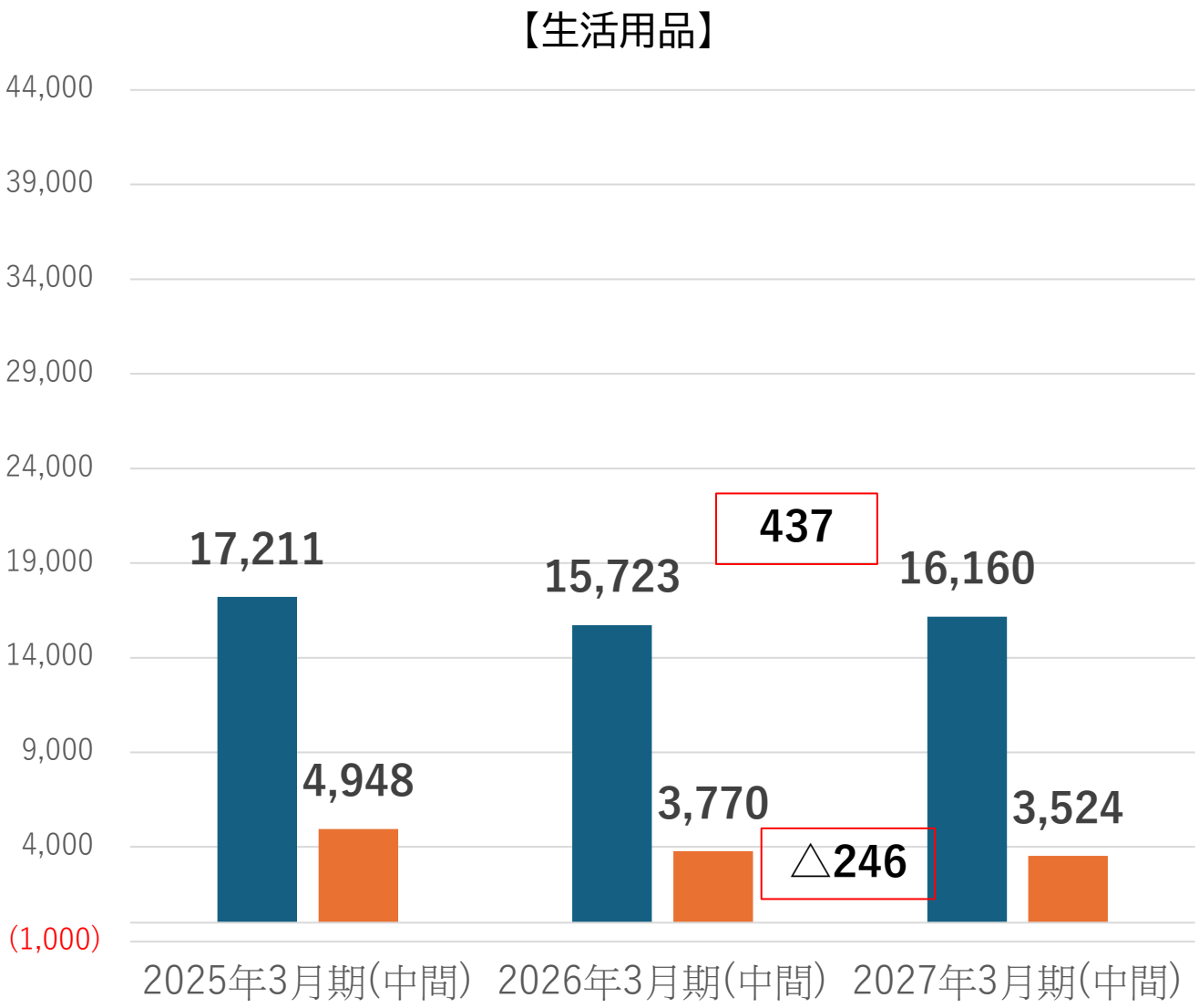
セグメント別(事業)売上高・利益の推移



■売上高
・前年比＋4,734百万円
・前年比＋12.8%
⇒中東情勢により製品安定供給に努め、特にフィルム全般、粘着テープ、壁紙、食品包装が価格改定や新規顧客の獲得、車輌内装材では北米向けが好調で、これら部門にて販売を押し上げ。

■セグメント利益
・前年比＋1,956百万円
・前年比＋576.9%
⇒価格改定や新規顧客増による増加及び難燃剤価格が下落したことから利益は大幅改善。

セグメント別(事業)売上高・利益の推移

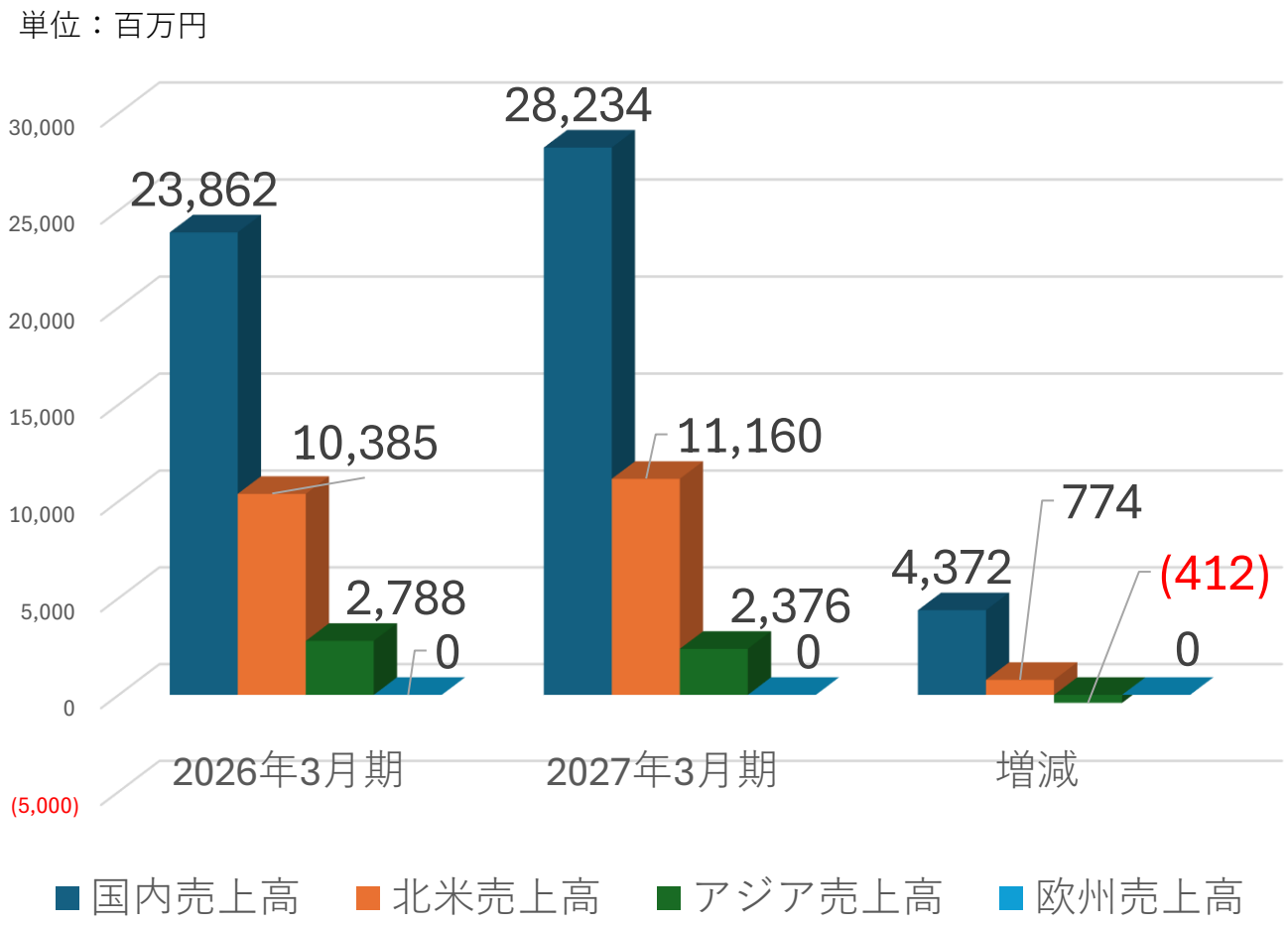


■売上高
・前年比＋437百万円
・前年比＋2.8%
⇒国内のコンドームは引き続きインバウンド減少による減少、海外のコンドームも継続する中国景気後退影響により減少。但し、現時点では少ないながら中国以外でのアジア圏での増加。北米は減少傾向。また円安によるプラス影響もあり。

■セグメント利益
・前年比▲246百万円
・前年比▲6.5%
⇒国内、中国及び北米でのコンドーム販売の減少による減少。

地域別・事業別売上高

【産業用製品】



国内売上高（前年比＋18.3%）

◆フィルムは全領域で受注増。
◆壁紙は新柄の販売が好調。価格改定も実施。
◆農業資材は需要増による。
◆自動車内装材は国内では受注増及び一部価格改定実施。
◆研磨布紙等は半導体向けとOA器材部材の需要増で増加

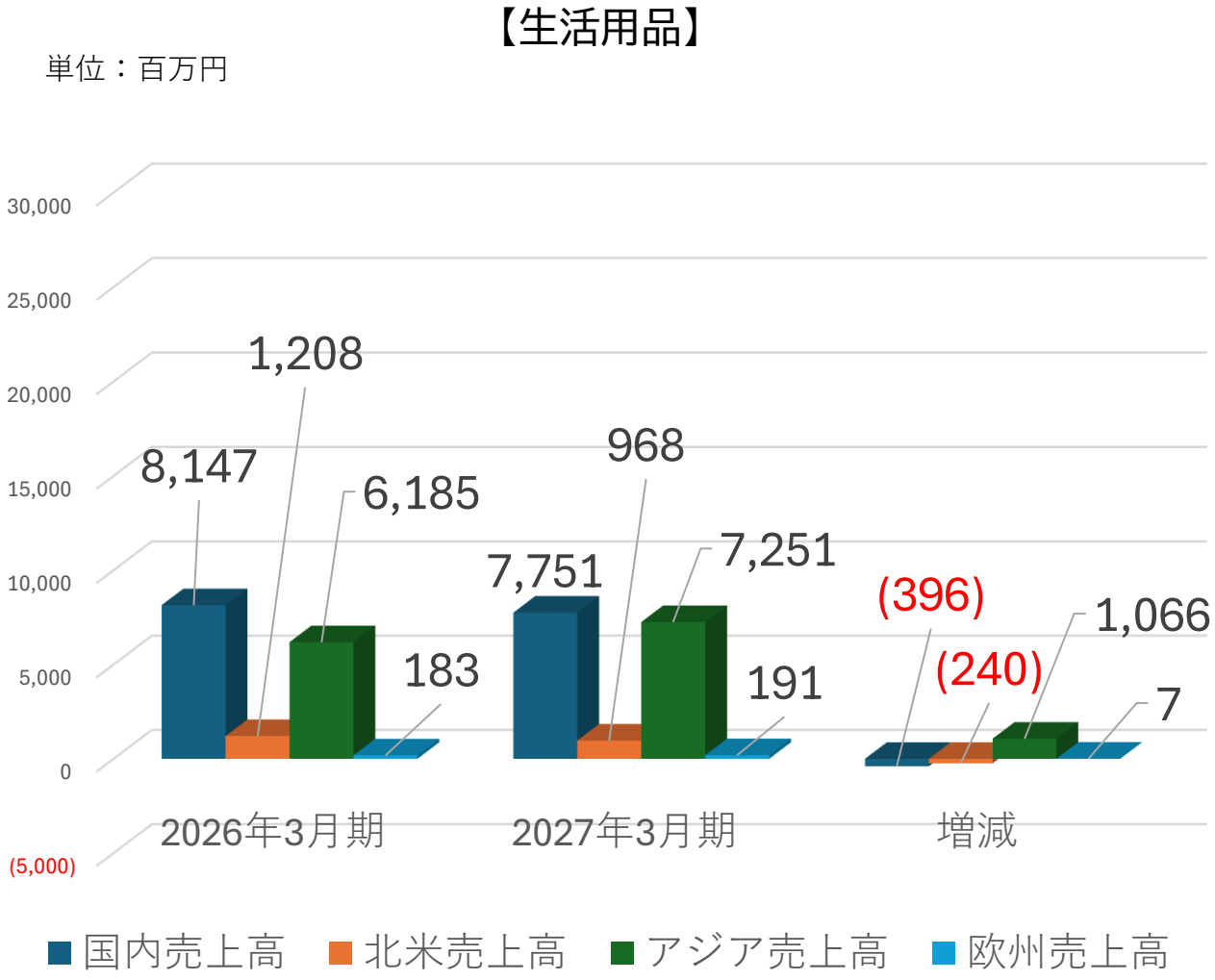
北米売上高（前年比＋7.5%）

◆自動車内装材は北米採用車種販売好調による販売増。

アジア売上高（前年比△14.8%）

◆自動車内装材は中国での日系自動車メーカーの減産影響により減少。

地域別・事業別売上高



国内売上高（前年比▲4.9%）
◆コンドームはインバウンドの減少。
◆除湿剤は多雨の影響で増加。
◆浣腸は受注減少による減少。

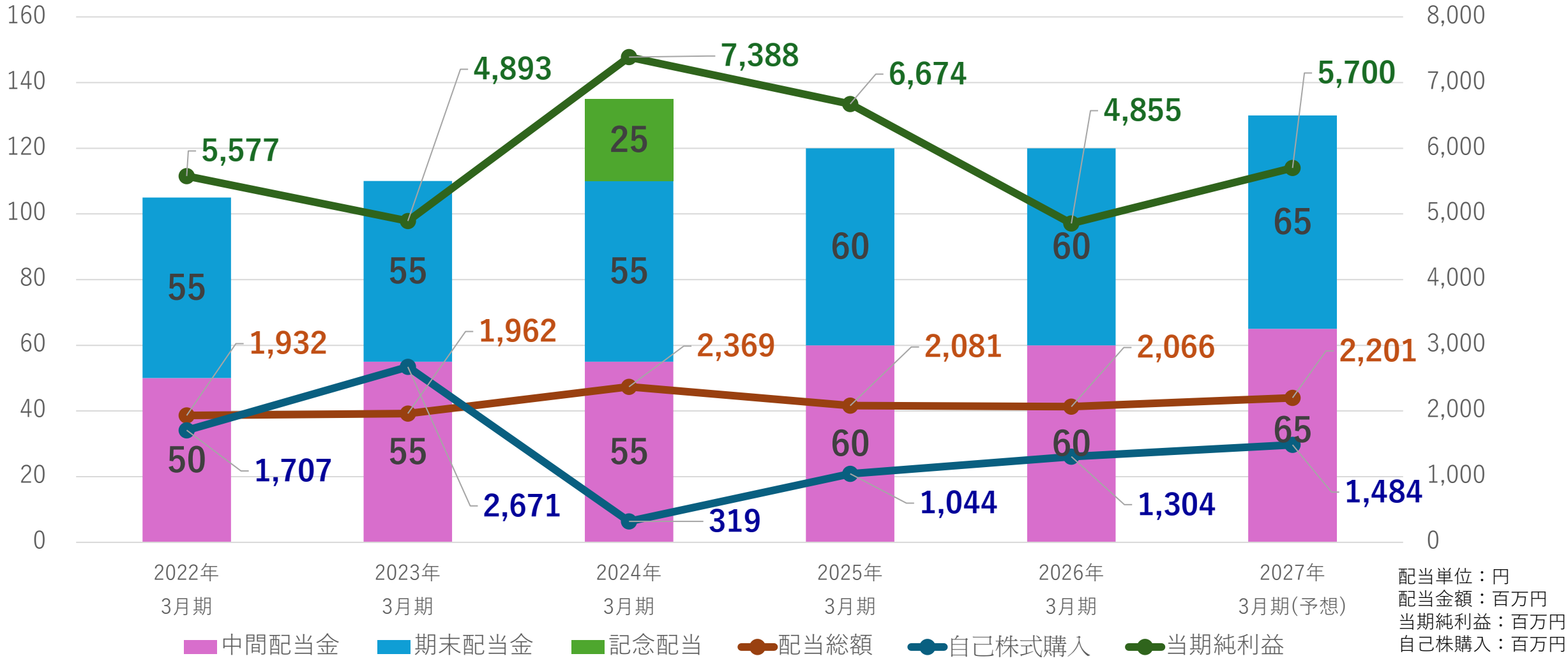
北米売上高（ ▲ 20.0%）
◆コンドームは客先在庫調整による減少。

アジア売上高（+17.2%）
◆コンドームは中国では引き続き減少しているものの、その他アジア圏にて販売が増加。

1:2027年3月期(中間) 決算概要
2:セグメント別概況
3:株主還元の推移
4:今後の見通し
5:質疑応答

株主還元の推移

記念配当を除き漸増(累進配当)



配当単位：円
配当金額：百万円
当期純利益：百万円
自己株購入：百万円

配当性向	３４．８％	４０．６％	３２．１％	３１．３％	４２．４％	３８．９％
総還元性向	６５．３％	９４．７％	３６．４％	４６．８％	６９．１％	６４．７％

注)
2027年3月期の自己株式購入は中間実績に新規に設定した枠の半分を消化したとして試算。

1:2027年3月期(中間) 決算概要
2:セグメント別概況
3:株主還元の推移
4:今後の見通し
5:質疑応答

今後の見通し

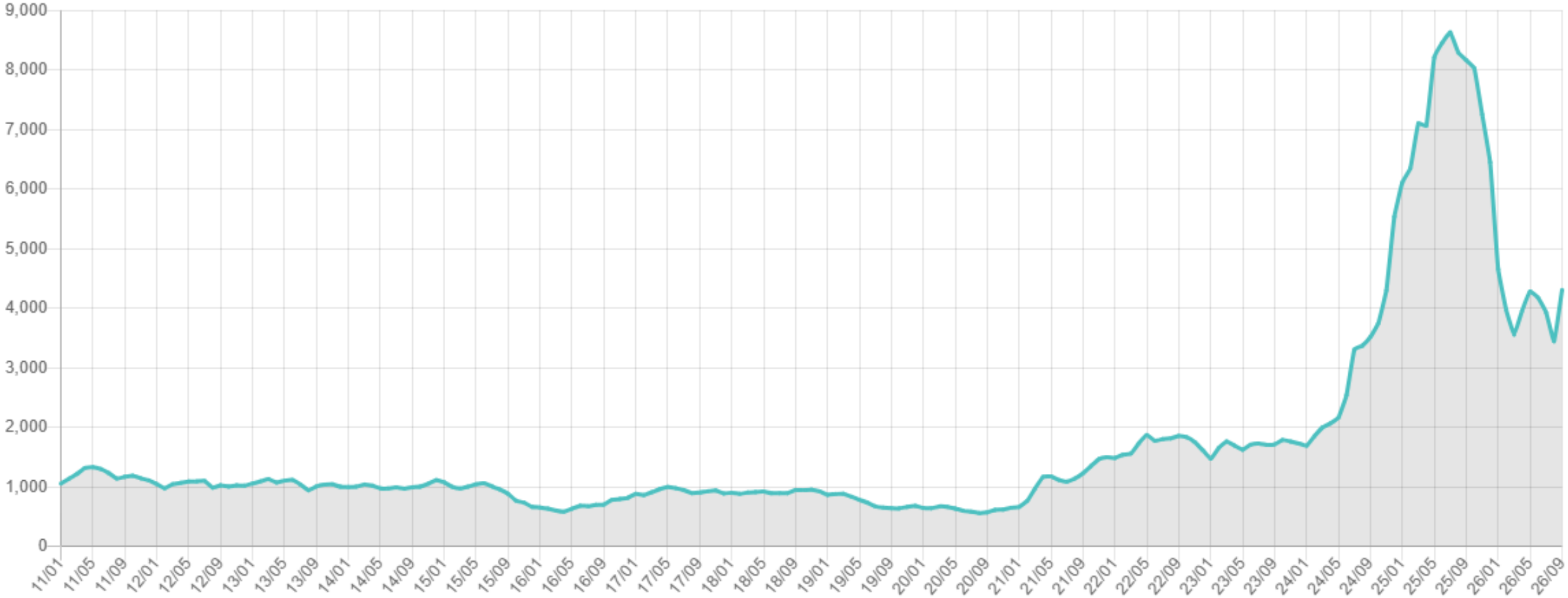
単位：百万円	2026年3月期(通期)	2027年3月期(通期)	増減	増減率
売上高	１０８,０４０	１１５,０００	６,９６０	６.４％
営業利益	６,２４８	６,７００	４５２	７.２％
経常利益	８,５９５	８,７００	１０５	１.２％
親会社株主に帰属する当期純利益	４,８５５	５,７００	８４５	１７.４％
1株当たり当期純利益（円）	２８２.８４	３３４.１９	５１.３５	１８.２％

【算定の前提】
想定為替レート：155円/米ドル
【今後の見通し】
当中間連結会計期間の終盤にかけては一部事業において需要が一巡しており、引き続き堅調な需要が見込まれる市場がある一方、弱含みが予想される市場も存在。これらを総合的に勘案した結果、通期連結業績予想は変更しておりません。

1:2027年3月期(中間) 決算概要
2:セグメント別概況
3:株主還元の推移
4: 2027年3月期(期末) 業績予想
5:質疑応答

質疑応答

（ご参考）アンチモン輸入CIF価格推移



出典：財務省貿易統計を基に当社作成

輸入CIF価格＝「輸入時点の価格指標」

ご多用中にもかかわらず
ご出席いただき、
ありがとうございました。